

**製品名: PEG3 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab15956**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	181kDa

## 抗原情報

遺伝子名	PEG3
別名	PEG3; KIAA0287; ZSCAN24; Paternally-expressed gene 3 protein; Zinc finger and SCAN domain-containing protein 24
遺伝子 ID	5178.0
SwissProt ID	Q9GZU2
免疫原	抗血清はヒト PEG3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1031-1080

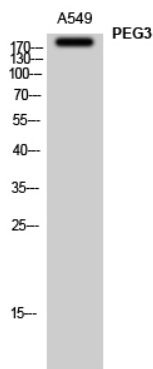
## 背景

ヒトでは、ZIM2 と PEG3 は複数の 5'エクソンと共通のプロモーターを共有し、両方の遺伝子が父系で発現するにもかかわらず、2つ

の異なる遺伝子として扱われます (PMID: 15203203)。選択的スプライシングにより、共有 5'エクソンは、ZIM2 に固有の残りの 4 つのエクソン、または PEG3 に固有の残りの 2 つのエクソンに接続されます。対照的に、他の哺乳類では ZIM2 はインプリンティングを受けず、マウス、ウシ、そしておそらく他の哺乳類でも、ZIM2 遺伝子と PEG3 遺伝子はエクソンを共有していません。ヒト PEG3 タンパク質は、Kruppel C2H2 型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属します。PEG3 は、細胞増殖および p53 を介したアポトーシスに役割を果たしている可能性があります。PEG3 はまた、神経膠腫および卵巣細胞において腫瘍抑制活性および腫瘍形成を示しています。この PEG3 遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。 [RefSeq 提供、2009 年 9 月],機能: SIAH1A と共同してアポトーシスを誘導する。DNA 損傷によって活性化される神経細胞死の経路において、TP53/p53 と BAX の間のメディエーターとして働く。TRAF2 と相乗的に作用し、NF- $\kappa$ B の活性化を介して TNF 誘導性アポトーシスを阻害する (類似性による)。神経膠腫細胞において腫瘍抑制活性を有する。 ,機能: 転写制御に関与している可能性がある。 ,類似性: krueppel C2H2 型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属する。 ,類似性: 1 つの KRAB ドメインを含む。 ,類似性: 1 つの SCAN ボックスドメインを含む。 ,類似性: 12 個の C2H2 型ジンクフィンガーを含む。 ,類似性: 5 個の C2H2 型ジンクフィンガーを含む。 ,サブユニット: ホモダイマー。 SIAH1A および SIAH2 と相互作用する。 TRAF2 と相互作用する。 ,組織特異性: 脳、グリア細胞、アストロサイト、胚、胎盤、精巣、卵巣、子宮。胎盤では絨毛栄養芽細胞層に、卵巣では卵胞周囲の莢膜層を含む卵巣間質細胞に発現する。神経膠腫細胞株では発現が著しく抑制されている。 ,組織特異性: 成体精巣で最も高い発現レベルを示す。胎児の腎臓および脳では中程度の発現レベルを示す。 ,

## 研究分野

## 画像データ



PEG3 ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析